

单位数：	4	单位
------	---	----

教科担当者：	DEF64	行徳 京子											
使用教科書：	啓林館 生物												

【知 識 及 び 技 能】	自然の事物・現象について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物の共通性と多様性の視点から、実験・観察を通して生物や生物現象に関する基本的な概念・原理・法則を、系統的に理解させる。	生物や生物現象を表面的なことだけでなく、その内部の隠されたしくみを考えるとともに、自然界と人間社会との関りも考えられるようにする。	科学の方法を身を習得し、疑問点を主体的に見出し、しっかりとねらいを持って生物学的に探究する態度を身に付けさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単 元 1 遺伝現象と物質	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	遺伝情報の複製・転写・翻訳のしくみとその調節のしくみがわかる。	教科書の内容	遺伝情報の複製・転写・翻訳のしくみとその調節のしくみの理解と知識の定着。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	12
	原核生物と真核生物との遺伝子の発現の違いについて考えることができる。	教科書	原核生物と真核生物との遺伝子の発現の違いについて説明できる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	原核生物と真核生物とで異なる遺伝子発現とその調節を学び応用について調べる。	Libry	原核生物と真核生物とで異なる遺伝子発現とその調節を学び応用について調べようとする態度が育っている。				
	単 元 2 発生と遺伝子の発現	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	動物の配偶子形成と受精のしくみ・初期発生の過程・細胞分化と形態形成がわかる。	教科書の内容	動物の配偶子形成と受精のしくみ・初期発生の過程・細胞分化と形態形成の理解と知識の定着。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	12
	配偶子形成と受精、卵割から器官分化について学び、細胞分化と形態形成のしくみを考えることができる。	教科書	配偶子形成と受精、卵割から器官分化について学び、細胞分化と形態形成のしくみを説明することができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	配偶子形成と受精、卵割から器官分化について学び、細胞分化と形態形成のしくみを調べる。	Libry	配偶子形成と受精、卵割から器官分化について学び、細胞分化と形態形成のしくみの具体例を説明できる。				
	定期考査（第1学期中間考査）/返却と解説						
	単 元 3 バイオテクノロジー	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	生物を利用する技術であるバイオテクノロジーがわかる。	教科書の内容	生物を利用する技術であるバイオテクノロジーの理解と知識の定着。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	12
	バイオテクノロジーの具体例について考えることができる。	教科書	バイオテクノロジーの具体例について説明することができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	遺伝子組換え実験や電気泳動実験に主体的に取り組む。	Libry	遺伝子組換え実験や電気泳動実験に主体的に取り組むレポートをまとめる。				
	単 元 4 刺激の受容と反応	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
動物の刺激の受容・神経系のはたらき・効果器（筋肉）の行動と機能についてわかる。	教科書の内容	動物の刺激の受容・神経系のはたらき・効果器（筋肉）の行動と機能についての理解と知識の定着。					
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	12	
動物の刺激の受容・神経系のはたらき・効果器（筋肉）の行動と機能について考えることができる。	教科書	動物の刺激の受容・神経系のはたらき・効果器（筋肉）の行動と機能について説明することができる。					
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】					
動物の刺激の受容・神経系のはたらき・効果器（筋肉）の行動と機能について実験・観察を行う。	Libry	動物の刺激の受容・神経系のはたらき・効果器（筋肉）の行動と機能について実験・観察をして理解を深める。					
定期考査（第1学期期末考査）/返却と解説							

令和 6 年度 年間授業計画 教科 理科 科目 生物

教 科：	理科
------	----

科 目：	生物
------	----

单位数：	4	单位
------	---	----

対象学年組： 第 3 学年

教科担当者：	DEF64 行徳 京子												
使用教科書：	啓林館 生物												

教科 **理科** の目標：

【知識及び技能】	自然の事物・現象について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物の共通性と多様性の視点から、実験・観察を通して生物や生物現象に関する基本的な概念・原理・法則を、系統的に理解させる。	生物や生物現象を表面的なことだけでなく、その内部の隠されたしくみを考えるとともに、自然界と人間社会との関りも考えられるようにする。	科学の方法を身を習得し、疑問点を主体的に見出し、しっかりねらいを持って生物学的に探究する態度を身に付けさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
2 学 期	単 元 5 動物の行動	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	環境に応じた反応をする動物の生得的行動・学習行動についてしくみがわかる。	教科書の内容	環境に応じた反応をする動物の生得的行動・学習行動についてしくみの理解と知識の定着。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	14
	環境に応じた反応をする動物の生得的行動・学習行動についてしくみを考えることができる。	教科書	環境に応じた反応をする動物の生得的行動・学習行動についてしくみを説明することができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	被子植物の重複受精・植物の光受容体の機能・植物ホルモンについて調べる。	Libry	被子植物の重複受精・植物の光受容体の機能・植物ホルモンについて身近な具体例をあげることができる。				
	単 元 6 植物の環境応答	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	被子植物の重複受精・植物の光受容体の機能・植物ホルモンについてわかる。	教科書の内容	被子植物の重複受精・植物の光受容体の機能・植物ホルモンについての理解と知識の定着。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	14
	被子植物の重複受精・植物の光受容体の機能・植物ホルモンについて考えることができる。	教科書	被子植物の重複受精・植物の光受容体の機能・植物ホルモンについて説明することができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	被子植物の重複受精・植物の光受容体の機能・植物ホルモンについて調べる。	Libry	被子植物の重複受精・植物の光受容体の機能・植物ホルモンについて身近な具体例をあげることができる。				
	定期考査（第2学期中間考査）/返却と解説						
	単 元 7 個体群と生物群集	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
個体群とその変動・種内関係・種間関係がわかる。	教科書の内容	個体群とその変動・種内関係・種間関係の理解と知識の定着。					
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	14	
個体群とその変動・種内関係・種間関係について考えることができる。	教科書	個体群とその変動・種内関係・種間関係について説明することができる。					
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】					
個体群とその変動・種内関係・種間関係について調べる。	Libry	個体群とその変動・種内関係・種間関係について身近な具体例をあげることができる。					
単 元 8 生態系	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。					
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】					
生態系と物質生産がわかる。生物多様性についてわかる。	教科書の内容	生態系と物質生産がわかる。生物多様性についての理解と知識の定着。					
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	14	
生態系と物質生産について、生物多様性についてそれぞれ考えることができる。	教科書	生態系と物質生産について、生物多様性についてそれぞれ説明することができる。					
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】					
生態系の生物多様性の階層性について調べる。	Libry	ある生態系の生物多様性について三階層それぞれの具体例に触れながら説明することができる。					
定期考査（第2学期期末考査）/返却と解説							

令和 6 年度

年間授業計画

教科

理科

科目

生物

教科：理科

科目：生物

単位数：4 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：	DEF04 行徳 京子												
使用教科書：	啓林館 生物												

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】	自然の事物・現象について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物の共通性と多様性の視点から、実験・観察を通して生物や生物現象に関する基本的な概念・原理・法則を、系統的に理解させる。	生物や生物現象を表面的なことだけでなく、その内部の隠されたしくみを考えるとともに、自然界と人間社会との関りも考えられるようにする。	科学の方法を身を習得し、疑問点を主体的に見出し、しっかりねらいを持って生物学的に探究する態度を身に付けさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
3 学 期	単 元 9 演習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	知識・技能の定着	教科書の内容	知識問題に正解する。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	思考力・判断力・表現力を伸ばす。	教科書	思考力・判断力を要する問題に取り組み、図や文章を用いて正解する。	○	○	○	9
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	総合的な演習問題に主体的に取り組む。	Libry	総合的な問題に取り組み、正解する。				
	単 元 10 演習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	知識・技能の定着	教科書の内容	知識問題に正解する。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	思考力・判断力・表現力を伸ばす。	教科書	思考力・判断力を要する問題に取り組み、図や文章を用いて正解する。	○	○	○	9
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	総合的な演習問題に主体的に取り組む。	Libry	総合的な問題に取り組み、正解する。				
	単 元 11 演習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	知識・技能の定着	教科書の内容	知識問題に正解する。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	思考力・判断力・表現力を伸ばす。	教科書	思考力・判断力を要する問題に取り組み、図や文章を用いて正解する。	○	○	○	9
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	総合的な演習問題に主体的に取り組む。	Libry	総合的な問題に取り組み、正解する。				
	単 元 12 演習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	知識・技能の定着	教科書の内容	知識問題に正解する。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	思考力・判断力・表現力を伸ばす。	教科書	思考力・判断力を要する問題に取り組み、図や文章を用いて正解する。	○	○	○	9
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	総合的な演習問題に主体的に取り組む。	Libry	総合的な問題に取り組み、正解する。				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説						